

■表3 景観類型等

		現況及び将来的な土地利用の方向性や都市構造による類型	景観資源との関係性や地形から細類型	
拠点 景観	都市 拠点	前橋の顔、地域の顔としての役割を担うべき拠点（前橋市都市計画マスタープランの将来都市構造に位置づけられる都心核、地域核の商業系土地利用）	地区の区分は行わない	
	軸 景観	都市 軸	利便性・安全性とともに、赤城山等の山並みを背景として調和のとれた道路景観の形成が求められる軸（前橋市都市計画マスタープランの将来都市構造に位置づけられた広域都市軸、放射都市軸、環状都市軸の道路境界から30mの沿道区域）	観光軸 その他の 都市軸
鉄道 軸		印象的な風景とともに、前橋の原風景を創り出す上で重要な役割が求められる軸（前橋都市計画マスタープランの将来都市構造における軌道交通軸（上越線、両毛線、上毛電鉄）に接する敷地）	地区の区分は行わない	
河川 軸		地域の景観の骨格をなすとともに、環境の向上を図る上で重要な役割が求められる軸（緑の基本計画における水と緑の軸（利根川、広瀬川、桃ノ木川、荒砥川、粕川、寺沢川、藤沢川、天狗岩用水・滝川）に接する敷地）	地区の区分は行わない	
都市 景観	商業・ 業務 地区	現況又は将来的な土地利用において、主に商業地、業務地として利用されることがのぞましく、まちの活力やにぎわいづくりに配慮すべき地区	本庁管内地区 中心市街地 その他の商 業・業務 地区	商業・業務地区は、赤城山や歴史的・文化的資源といった景観資源との関係性の違いから2つに区分する
	住宅 地区	現況又は将来的な土地利用において、主に低密住宅地、一般住宅地、複合市街地として利用されることが望ましく、住宅地としての快適性に配慮すべき地区	既成市街地 住宅団地	住宅地区は、赤城山や歴史的・文化的資源といった景観資源との関係性の違いから2つに区分する
	工業 地区	現況又は将来的な土地利用において工業地、流通業務地として利用されることが望ましく、就業環境とともに周辺地区の環境への影響に配慮すべき地区	地区の区分は行わない	
自然 景観	田園 地区	現況又は将来的な土地利用において田園地として利用されることが望ましく、主に市南西側の平坦部から、森林地区に接する市東側の赤城山の裾野部に広がる、前橋を代表する美しい田園風景を保全すべき地区	平坦田園地区 裾野田園地区	田園地区は、地形や赤城山、歴史的・文化的資源といった景観資源との関係性の違いから2つに区分する
	森林 地区	保安林を主とする地区	地区の区分は行わない	
景観形成 重点地区	景観計画区域（前橋市全域）のうち、特に地域の特性に応じた景観の保全及び創出を重点的に図っていく地区	広瀬川河畔景観形成重点地区		